

平成29年度 まちづくり懇談会（タウンミーティング）議事録

会議名	運動自主グループ役員とのまちづくり懇談会 (給食ミーティング形式による)
開催日時	平成30年2月20日(火) 午前11時30分～午後1時25分
開催場所	川島町役場 中会議室
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一部公開</span>
非公開の理由 (非公開の場合のみ)	個人を特定する情報については非公開とする ※「まちづくり懇談会実施要領」 10 懇談内容の公表 町民に対して積極的な情報提供を行う観点から、懇談会における懇談内容は、団体名や個人名を特定しない形式で、町広報紙や町ホームページで公開する。
議題	私たちのように、自主的に健康づくりを実践するグループが増えるためには、どのような取組みをしていけばよいか。
出席者	町：町長、健康福祉課（藤間課長、中澤主事）、秘書室（柴生田） ※開始前：給食センター（浜中所長、木島栄養教諭） 団体：運動自主グループ役員7名
配布資料	次第、タウンミーティング時給食資料、給食試食会資料、2月学校給食献立予定表、給食だより
<p><b>審議等の内容又は概要</b></p> <p>1 開 会</p> <p>2 給食説明</p> <p>3 タウンミーティング</p> <p>4 閉会</p>	
<p><b>質疑応答・意見提案</b> ※フリートーク形式で実施</p> <p>町長：町は、県内でも国民健康保険税が高いほう。少しでも下げたいと思っており、健康づくりには力を入れている。昨年度は「川島町健康長寿のまちづくり推進条例」を制定し、今年度は各種計画を策定している。このような中、平成27年度は皆さんの努力の甲斐もあり、全体の医療費が少し下がったので「いただいた保険料を少しだけお返しする」という意味合いを込めて、平成28年度の時限対応として国民健康保険税を下げた。平成30年度からは国民健康保険は埼玉県と共同運営することとなる。そうなると、町民の国民健康保険税は少し下がる見通し。皆さんをはじめ、ハッピー体操やかわべえいきいき体操、パティオなど、地域の活躍で町は健康を保っている。</p> <p>団体：私たちが活動していく上でネックとなるのが活動費。年間2,000円の会費と傷害保険料の支出は負担。また、団体で遠出などするときの交通費も負担。町に少しでも補助してほしい。</p>	

団体：平成の森公園や体育館を使用するにもお金がかかる。私たちのように自主的に活動する団体に対して、そのくらいは免除してほしい。また、ゲートボールやグラウンドゴルフなどができる施設を造ってほしい。町は運動できる施設が少ない。

団体：先日、他市町村のパークゴルフ場へ行った。住民であれば無料で利用できるが、私は住民ではないから利用料を取られた。町内にこういった施設があつて、無料で利用できれば、健康増進につながると思う。

団体：私もそのように思う。

団体：私たちの団体は、総勢22人と人数が多い。現状でも手一杯で、これ以上増やすことはできない。町は、私たちのような自主的に健康づくりに取り組む団体をもっと増やして、それらの団体を統括してほしい。

団体：私たち団体のベースとなったのは、特定健診で何らかの所見があり、町から運動や栄養面での指導を行う教室。この教室の卒業生を町が集め、その後も定期的に活動していくようなグループを作った。最初は職員が毎回参加し、いろいろ指導をしてくれた。途中からは自分たちで活動するようになったが、この会に参加して、知らなかったスポーツを体験できたり、仲間が増えたりと、とても楽しい。だから町は、このようなきっかけを作ったら良いと思う。

団体：この団体の活動とは別に、「支え合いを考える会」にも参加しているが、正直なところ何をしたらよいか分からない。自分たちで何かができる会になるよう、誰か音頭取りをしてほしいと思う。

町長：皆さんのご意見を聞いて、なるほどと思う。しかしお金についても無限にあるわけではないし、団体の統括など、どこまで町は介入すればよいのかと考える部分もある。

(町)：この団体は、長く活動を続けられている団体だと思うが、何か工夫点などはあるのか。

団体：町がこの会を「やろう」と言っただけで集まり、町が「続けて行こう」と言っただけで続けている。

(町)：確かに町は、立上げのときに手伝いをさせてもらい、その後の活動も支援しているかもしれない。しかし皆さんは自主グループであり、運営は皆さん自身が行っているもの。皆さんの自主的な活動に対して、町は時々支援をしているに過ぎない。

団体：確かに。そう考えると、私たちが「支援して」と言ったときに支援してくれる存在であればよいのかもしれない。

(町)：皆さんの自主的な活動の中で、効果の表れた活動はあったか。

団体：この活動に参加し始めてから、健康に対する意識が高くなり、今はほぼ毎日歩いている。おかげで健診の結果も改善し、先日行った体力測定でも、実年齢より17歳も若い結果が出た。

団体：私は、積極的な教室への参加はしていないが、オレンジカフェに参加している。以前広報でオレンジカフェの記事が掲載されていて気づいたのだが、「認知症オレンジカフェ」との名称は誤解を与える。あくまで「認知症予防のためのオ

レンジカフェ」だ。

町長：確かに。それは失礼をした。

団体：他市町村から川島へ来て、シニア学園に参加した。そこで町が行う教室に興味が出て、筋力アップ教室にも参加し、この団体の会長に誘ってもらって参加するようになった。以来、健康関連の教室にはいろいろと参加しており、とても楽しい。一方で、交通に不便さを感じる。私自身はそれほど不便ではないが、町内でもお店などまで遠い所に住む人には、自転車での移動も大変ではないかと案じている。

町長：かわみんタクシーを行っているが、割と好評をいただいている。皆さんもぜひ登録してほしいし、交通の便に困っている人がいたら案内してほしい。

団体：私はハッピー体操とかわべえいきいき体操のサポーターをしている。体操の会場までかわみんタクシーを利用している人もいる。ハッピー体操のサポーターをしていて感じるのだが、必要だと思う町民を誘うが、公民館まで行けないと言われることがある。しかし、かわべえいきいき体操が始まってから、会場が集会所なので自力で通えると、参加者数が増えている。みんなで集まって体操をし、終わったらおしゃべりをして、とても楽しそうに参加している。

(町)：かわべえいきいき体操は、筋力を増やすことを目的としている。高齢となっても筋力を増やすことはでき、実際に歩けなかった人がこの体操に参加してから歩けるようになったなど、効果も得られている体操。

町長：今、町では福祉計画を策定しているところ。皆さんのように、町民みんなが健康に関心を持ち、自主的に活動する団体がたくさん増えれば良いとは思いますが、なかなか思うようにはいかない。それでも川島町は健康づくりに励んでいる町だと自負している。決して他市町村に劣ってはいない。

団体：確かにそのとおりだと思う。他市町村に住む友人と話をすると、「いろんなことたくさんやってるんだね」と言われる。

団体：私も他市町村に住む友人と話をすると、「そんなに行政と近い関係にあるのか」とうらやましがられる。

町長：話は少し逸れるが、町はインター南側の開発に力を入れている。町の税収を上げたいことと、雇用を増やしたいことが大きな目的。そうすれば町に若い人が増えると考えている。なので、子育て対策にも力を入れており、幼稚園の入園費用の補助金や、第3子以降のお子さんには保育料無料化を行っている。小中学生の英語教育にも力を入れており、県内で唯一（今日現在）英検の受験料1回分を全額補助している。それというのも、川島規模だからできることだと思っている。当然、壮年の人に対しても「元気で幸せ」に暮らしてほしいと思っている。そのためにも町は、もっと活力を持つことが必要。

団体：話は変わるが、小見野小学校の跡地利用の件はどの程度話が進んでいるのか。

町長：今現在は、教育委員会が検討を行っている。地域の人から意見を聞いているが、これという決定打となっていない。施設はぜひとも地域の人に活用してもらいたいと思っているが、地域にとっては、施設の活用を預けられても負担感が大きいと思う。この4月からは所管を教育委員会から町に移し、町の財産として

検討を行っていく。利用方法についてももう少し検討を重ねる予定。いずれにしても2～3年のうちには方向性を示す予定としている。

団体：企業に売却してはいかがか。

町長：確かにそういったご意見も有効だと思う。一方で、これまでの歴史や経緯などを重んじる慎重なご意見もある。人の考え方は様々だから、なかなか簡単には進まない。

団体：私の自宅前の道路は、50年ほど前に舗装されたきりで、道路の端などは崩れている状況。幅員を拡張してほしいと要望しているが、一向に改善されない。

団体：確かに、ウォーキングを始めるようになってから、歩きやすい道路が余らないと感じる。

町長：道路整備も必要な事業だと思っている。来年度予算には道路整備に関しても計上しているので、必要な箇所には修繕、補修等行うようにするが、全て対応できるとまでは言い切れない。

団体：私はむしろ、川島町はどこもかしこも舗装化されている印象。舗装して誰が通行するのかといったところまできれいに舗装されている。

町長：一定場所だけを整備するのは不公平感もあるので、ある程度まんべんなく対応している。また、農地については大型機械が入れるよう舗装している点もある。

団体：町長として、私たちの団体をどのように認識しているか聞きたい。

町長：いろいろな場所に良く出向き、皆さんの力でよく続けられていると思う。皆さんのような団体はもっと増えてほしいと思う。

団体：以前からずっと要望していることなのだが、私たちは町が作った団体なのだから、私たちの活動に参加したら、かわべえ健幸マイレージのポイントを付与してもらえないか。できないのであればそれでも構わないが、早く回答を示してほしい。

(町)：かわべえ健幸マイレージは、今年度の7月から始めたばかりであり、確かに検討課題は様々。いずれにしても、現時点での追加はない。来年度が始まる前には再整理を行う予定なので、そのとき改めて回答を示したい。